

県コンクリート診断士会の初代会
長に就任した石川裕夏さん(三〇)は福
井市二の宮四丁目Ⅱは「会員相互の
研鑽(けんさん)に努め、コンクリ
ート製構造物の維持、補修などに
いて、官公庁に
提言できるよう
年数を延ばす重要性を訴える。

同診断士は、社団法人日本コンク

コンクリートの診断は重要

にしたい」と抱
負を語る。
リート工学協会が、三年前に創設し
た資格認定制度。合格率15%の「狭

近年はトンネルや高架橋などか
ら、コンクリート片がはがれ落ちる
事故が相次ぐなど、コンクリート製
構造物に対する信頼性が揺らいでい
る。石川さんは「これまではスクラ
増やすのが目標だ」と話す。

